

2012年2月2日
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ
株式会社Tメモ

**博報堂DYメディアパートナーズ、
日本初のテレビ番組連動映像認識アプリケーション「パシャーン」を開発し、南海放送で実証実験**

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区、社長:大森壽郎、以下博報堂DYメディアパートナーズ)、株式会社Tメモ(本社:東京都港区、社長:藤本良信、以下Tメモ)は共同で、スマートフォンで撮影したテレビ番組映像を認識し、その映像の関連情報を自動的にスマートフォンに配信するスマートフォン向けのテレビ番組連動映像認識アプリケーション「パシャーン」を開発し、南海放送「makiコレ」(毎週木曜日24:38~24:48)において2012年2月2日(木)から4週間にわたり実証実験を行います。

テレビ番組連動映像認識アプリケーション「パシャーン」は、株式会社ゼータ・ブリッジ(※1)の保有する画像認識技術を活用し、視聴者がスマートフォンで撮影した画像の情報を専用サーバーに送信、あらかじめ登録してある番組映像とのマッチングを行い、その映像に対応した情報を視聴者のスマートフォンに配信し画面に表示させるアプリケーションです。視聴者はスマートフォンで番組映像を撮影するだけで、関連情報を受信し閲覧できます。番組連動での視聴者参加型企画展開や、インフォマーシャルやCMと連動した企業マーケティングコミュニケーションへの活用が可能になります。

南海放送「makiコレ」における実証実験放送では、視聴者は「パシャーン」を起動して、番組本編やインフォマーシャル、CMなどの放送画面を撮影するだけで、番組や広告主の商品・サービスに関する詳細情報、商品割引クーポンなどをスマートフォンで受信することが出来たり、広告主の商品プレゼントに応募することができます。

さらに、画面を撮影して情報取得すると1枚のポイントステッカーが付与され、獲得したポイントステッカーに応じて番組プレゼントキャンペーンに応募できる、視聴者参加型の番組企画も展開します。

博報堂DYメディアパートナーズは、「メディア効果をデザインする」ことを企業理念としています。今後も、スマートデバイスの急速な普及に伴うテレビとスマートデバイスの併用、いわゆる生活者の2スクリーン視聴行動など、メディア環境の変化に伴う生活者のメディア接觸行動の多様化の中で、放送コンテンツの再価値化、また、高い広告効果を期待できる手法の開発を積極的に行っていきます。

■「パシャーン」実証実験放送概要

番組名: 「makiコレ」毎週木曜日24:38~24:48 毎週旬な情報を届ける情報番組
放送日時: 2012年2月2日・9日・16日・23日の4回
放送局: 南海放送(愛媛エリア)

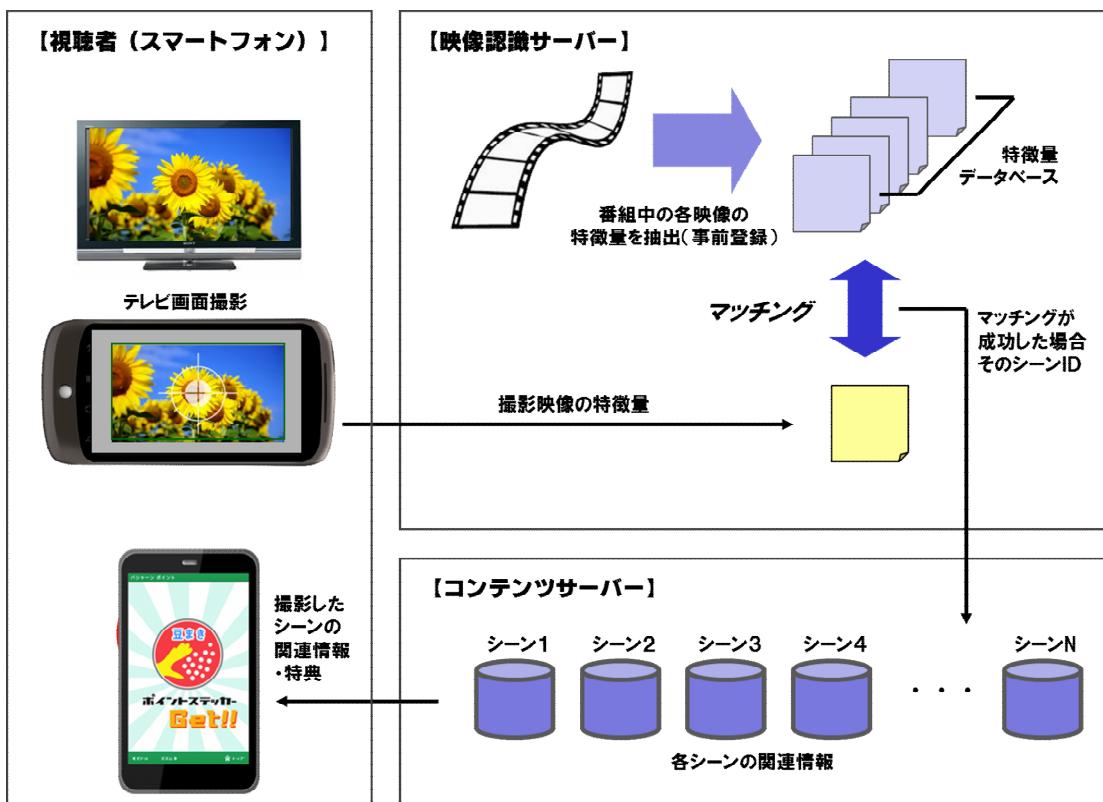
■「パシャーン」アプリケーション概要

企画： 博報堂DYメディアパートナーズ、Tメモ
制作： Tメモ、ゼータ・ブリッジ（※1）
搭載技術： テレビ映像認識技術（※2）
対応OS： Android2.1以上 ※一部非対応機種有り

※1 株式会社ゼータ・ブリッジ（東京都品川区 社長：安藤尚隆）
画像認識ASPサービス「フォトナビ」を展開、今回のテレビ映像認識技術を新たに開発

※2 テレビ映像認識技術
テレビ映像認識技術とは、テレビ画面を撮影した画像情報からそのシーンの明暗や色の分布などの特徴量を抽出して、あらかじめ登録されている番組内の各シーンの特徴量と比較することにより、視聴者がどの番組のどのシーンを視聴していたかを特定できる技術

■「パシャーン」システムイメージ



■「パシャーン」画面



■この件に関するお問い合わせ先

博報堂DYメディアパートナーズ 広報グループ 加藤・山崎 03-6441-9347
Tメモ 広報担当 藤本・油木 03-6441-9686